

河辺林通信

建部北町の森から

2016年4月号 No.216

もみじの新芽。赤ちゃん葉っぱは赤いのです

法人化、初めての一年

さて、2015年度は法人化後の新生遊林会にとって初めての一年となりました。既存の事業に加えて、法人として必要な事務仕事、そして東近江市の森の博覧会など、新しい仕事、新しい事業を実施した忙しい年度になりました。

そして昨年度は里山保全と環境学習というこれまでの事業に加え、法人化によって、大きく踏み出した、新しい事業が2つあります。



お昼の時間は遊林会と一緒にです

2つめは、人材育成事業を始めたことです。これまで、少しでも多くの子ども達に豊かな自然とのつながりを、という想いのもと、自然体験事業を実施してきました。言うなれば、子ども達の心に種を蒔く活動を続けてきた訳です。しかし、いくら種を蒔いても無事に芽を出すとは限りませんし、たった一回の活動で、豊かな心を育むこともまた難しい話です。じゃあ、一回だけでなく、四季を通じて自然体験を、ということで始めたモリイコ！事業も、小学校3年生までで終わってしまいます。

1つめは、河辺いきものの森以外で保全活動を始めたことです。これまで、そしてこれからも河辺いきものの森の里山は維持し続ける一方で、東近江の地域の里山が荒れている現実があります。地元の人が地域の自然を守ろうにも、守り方がよく分からない、道具がない、人がいないという問題があります。それなら、遊林会がノウハウと道具、そして人手を出しますから、一緒に山仕事をしましょう、という事業です。



作業前



作業後

じゃあ、種を蒔くだけではなく、もっと長い目で出た芽を育ててみよう。これから20年、30年後、河辺の森を守り、滋賀県の自然を、そして日本の自然を守り、四季の移り変わりを楽しむことができる人材を育てよう、ということで、この事業を始めました。

モリイコ！の卒業生を対象に、年に何回か集まって、自然の中で過ごす機会を作ろう、という事業です。第1回目は中学生も含め、30人以上もの子ども達が集まってくれ、4年ぶりに森にきたよ！という子どももいました。

場所は東近江市、蒲生岡本にある梵釈寺というお寺の裏山。月に一回、遊林会のボランティアメンバーと地元の方が一緒になって、里山保全活動を実施しました。昨年度は6回の活動でしたが、本当に見違えるくらい里山が明るくなりました。この成果には、森のメンバーも、住職さんを始め、地元の方もビックリです。伐った薪も、地域の公共施設の薪ストーブで有効利用されたりと、理想的な循環が始まっています。

こちらはまだまだ始まったばかりの事業ですが、子どもたちも、保護者の方も次回を本当に心待ちにしていることがわかりました。ぜひこれからも継続していきたい事業だと思っています。



●3月の作業だより

第2土曜日（3月12日） 27人

好天で作業日和でした！

① 落ち葉かき

今シーズン最後の落ち葉かき。竹柵が落ち葉であふれそうでした。

② 枯れ枝除去

春休みのクイズラリーが始まる前に、危険な枯れ枝を高枝ノコギリで切りました。

② 機械刈り

切草が伸びてくる前に、ササを一掃してもらいました。

② いろいろ小部隊

木道沿いの丸太の階段を更新しました。

③ 昼食準備

今回は豪華なチラシ寿司でした。

梵釈寺（3月3日） 19人

前回の続きで、奥の池までの道がとうとう開通しました。お墓の近くの枯れたクヌギを地元の方達と一緒に倒しました。

木ままクラブ（3月17日） 11人

先月の第4水曜日から引き続き、お墓周りの常緑樹などの伐採です。無事に伐採を終えられて、お墓の周りがスッキリしました。

第4水曜日（3月23日） 13人

森の入口付近で、道路に張り出しているアラカシなどの枝の伐採でした。高所作業でしたが、無事に全ての枝を切り終えて、昼からは、ファイヤーサークルのフタを解体しました。

4月の活動日と作業予定

4/9 (土)	ササ機械刈り 下草手刈り
4/14 (木)	蒲生 岡本 梵釈寺 続き
4/21 (木)	木ままクラブ ササ機械刈りなど
4/27 (水)	枯れアラカシ伐採 ササ機械刈りなど

朝 9:00～（遅刻可）

第2土曜日は、9:00より

1時間ほど観察会を行います

3月の観察会

3月の観察会は、「春さがし」がテーマでした。春といえば〇〇、みなさんは何が当てはまりますか。そんな〇〇の部分を探して森を歩いていると、ツクシが顔を出していたり、ウグイスが鳴いたり、冬眠から覚めたカナヘビを見つけたり…！短い時間でしたが、春がすぐそこまでやってきていることを、体中で感じる事ができました。



右端が升方です

森も人ものびのび～！

3月の下旬、暖かな陽射しの中、森を久しぶりにゆっくり歩くと、なんともいえない気持ちよさがあります。両手を空にかざして、気持ちよくのびをしたくなります。森の木々達も、寒い冬の間、ギュッと縮こめていた新芽を、いっせいに開き始めました。そうか、もう一年巡ったのかと、キラキラした森の木々達に教えられます。さあ春からもがんばるぞ！



ツバキの花むしるも鮮やかです



春休みに入って一日目は、子どもたちとデイキャンプ！寒さが戻ってきたのでその自分達でつけた火はとっても暖かかったです。

←みんなでマッチの火を守れ！

毎年行っているクイズラリーも待ってました！と常連の子どもが遊びに来てくれます。

まだまだ春は始まったばかり。

春休みが終わっても、遊びに来てくださいね～

新年度スタッフ 変わります

一昨年の春から2年間

お世話になりました、升方です。この春で森を離れ、奈良県の職場に転職となりました。次の職場も自然の良さを伝える仕事なので、これまでの学んだ事を忘れずに頑張っていきたいと思います。

編集後記

4月号、本来であれば、新規会員さんを募る内容の号になるはずでしたが、昨年度の新しく始めた事業を書くことで埋まってしまいました！この河辺林通信も、最初は前会長が文字びっしりで書いておられました。想いを短い文章で伝えるのは難しいなあと改めて思いました。来月号に改めまして、会員募集の案内をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。（泉）

【発行者】

特定非営利活動法人
里山保全活動団体 遊林会
代表理事 井田 三良

〒527-0003
滋賀県東近江市建部北町531
河辺いきもの森内
電話：0748-20-5211
メール：ikimono@e-omi.ne.jp